

国土交通省施設をつなぐ高速ネットワークの整備により、 迅速な災害対応を実現する

【対策】108 国土強靱化施策を円滑に進めるためのインフラDX等の推進に係る対策

対策概要：頻発化・激甚化する災害を踏まえた防災・減災、国土強靱化に資する建設生産プロセスのデジタル化の推進及び技術開発の促進を行う。

府省庁名：国土交通省

【事例】インフラDXネットワークの整備

- 実施主体：国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)グループ
- 実施場所：全国
- 事業概要：被災現場の状況を短時間で集約する際には、扱うデータ量が膨大となり、既存の公衆ネットワークによる通信では、遅延のない通信が困難になる恐れがあったため、河川道路管理用の光ファイバを活用して、国土交通本省及び各地方整備局等、国土技術政策総合研究所を100Gbpsの高速・大容量回線で接続する。
- 事業費：－
(5か年加速化対策(加速化・深化分) 4.0億円)
- 効果：3次元モデル等の大容量データを遅延なく伝送することで、被災現場の迅速な応急復旧や遠隔での災害復旧工法等の検討が可能となり、早期の災害復旧につながる。

